



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 三菱食品 株式会社

コード番号 7451 URL <http://www.mitsubishi-shokuhin.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 彪

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部 IR室長

(氏名) 桜井 信彦

TEL 03-3767-5204

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	579,621	2.2	2,728	12.4	3,253	7.6	2,303	61.5
25年3月期第1四半期	567,122	55.0	2,428	△12.2	3,022	△11.8	1,426	2.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,203百万円 (72.5%) 25年3月期第1四半期 1,277百万円 (△23.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	40.31	—
25年3月期第1四半期	24.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	625,657	120,760	19.1	2,093.17
25年3月期	606,945	119,831	19.6	2,076.77

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 119,605百万円 25年3月期 118,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200,000	3.0	7,900	△2.1	8,600	△4.6	4,800	6.2	84.00
通期	2,400,000	3.5	18,700	9.7	20,000	6.7	11,500	0.2	201.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	58,125,490 株	25年3月期	58,125,490 株
26年3月期1Q	984,445 株	25年3月期	984,445 株
26年3月期1Q	57,141,045 株	25年3月期1Q	57,141,387 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 品種別売上高明細表	10
(2) 業態別売上高明細表	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～6月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感を背景とした円安・株高効果により輸出企業を中心に業績が改善するなど国内景気は回復基調となっておりますが、一方で原材料価格の高騰や電気料金の値上げ等の懸念材料もあり、先行きは依然として不透明な状況であります。

個人消費においては、株価上昇による資産効果や消費マインドの好転を受け高額品を中心に持ち直しの動きが見られるものの、雇用・所得環境の改善の遅れや消費税率の引き上げ等に対する先行き不安から、生活者の節約・低価格志向は依然として根強く、食品等の生活必需商品については慎重な購買行動が続いております。

このような状況下、当社グループは、業態を越えた競争激化や業界再編、PB商品の拡大等、複雑化する課題に直面する取引先様への対応強化のため、本年4月に実施した組織変更により、カテゴリーを超えた課題解決機能の提供に向け、総合的な取組みを実行する体制を整備いたしました。また、物流面では徹底的なローコスト化を追求するとともに、取引先様のあらゆるニーズに応え、事業領域の拡大に貢献すべく、機能構築・拡充を目指しております。

併せて全社的な業務プロセスの再構築を着実に推進することで、経営の効率化や収益性の向上を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は5,796億21百万円（前年同期比2.2%増加）となりました。利益面につきましては、営業利益は27億28百万円（前年同期比12.4%増加）、経常利益は32億53百万円（前年同期比7.6%増加）、四半期純利益は23億3百万円（前年同期比61.5%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 加工食品事業

内食化志向の高まりによるドレッシング等調味料類の伸長に加え、5月中旬以降の高気温により飲料類が好調に推移いたしました。また、コンビニエンスストアやドラッグストアとの取引が拡大したことにより、売上高は増加いたしました。しかしながら、利益面では生活者の低価格志向を背景とした競争激化の影響等により、低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,916億73百万円（前年同期比2.3%増加）、営業利益は7億94百万円（前年同期比18.2%減少）となりました。

② 低温食品事業

内食化や簡便化志向の高まりにより引き続き市販用冷凍食品・惣菜関連商材が堅調に推移いたしました。また、コンビニエンスストアにおけるカウンター商材の伸長や、5月中旬以降の高気温によりアイスクリームが好調に推移したため、売上高・営業利益ともに伸長いたしました。

以上の結果、売上高は2,185億6百万円（前年同期比2.8%増加）、営業利益は20億91百万円（前年同期比5.9%増加）となりました。

③ 酒類事業

気温の上昇や景況感改善の影響を受け業務用市場は好調に推移したものの、高齢化等により市場縮小傾向が続く中、第3のビールや低アルコール・ノンアルコール飲料等、低価格商品の比率が高まり、売上高は減少いたしました。一方で、物流費を中心としたコスト削減が進み、営業利益は改善いたしました。

以上の結果、売上高は1,080億75百万円（前年同期比0.9%減少）、営業利益は△1億64百万円となりました。

④ 菓子事業

コンビニエンスストアやドラッグストアとの取引増加に加え、好天により行楽需要等が堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、同業他社との競争激化等、厳しい市場環境が継続したため、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は608億80百万円（前年同期比5.8%増加）、営業利益は△3億10百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が187億12百万円、負債が177億83百万円それぞれ増加し、純資産が9億28百万円増加いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は、総資産においては「受取手形及び売掛金」の増加150億46百万円によるものであり、負債においては「支払手形及び買掛金」の増加286億10百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成25年5月7日に公表いたしました平成26年3月期の第2四半期及び通期の業績予想について変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

当社及び連結子会社が顧客より物流業務を受託している物流センターの運営費や各店舗までの配送料などのうち、当該顧客との取引（商品の販売）に対応する費用については、従来、「販売費及び一般管理費」として処理しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「売上原価」として処理する方法に変更いたしました。

この変更は、平成23年7月1日の経営統合に伴い、物流業務受託取引の金額的重要性が増しており、今後もその傾向が継続すると見込まれることから、当該取引の性格等を総合的に勘案した結果、顧客との取引形態の変化に対応することで経営成績をより適切に表示するために行うものであります。

当該変更により、前年四半期については組替え後の四半期連結財務諸表となっております。

なお、組替え前と比較して、前第1四半期連結累計期間の売上原価は33億62百万円増加し、売上総利益、販売費及び一般管理費はそれぞれ同額減少いたしました。営業利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,551	599
受取手形及び売掛金	294,440	309,487
有価証券	42,000	6,400
商品及び製品	52,278	54,836
原材料及び貯蔵品	22	17
短期貸付金	35,520	77,569
その他	56,160	52,430
貸倒引当金	△1,843	△278
流動資産合計	481,130	501,061
固定資産		
有形固定資産	74,705	73,960
無形固定資産		
のれん	4,043	3,962
その他	2,630	2,621
無形固定資産合計	6,674	6,584
投資その他の資産		
投資有価証券	22,674	22,288
その他	23,722	23,454
貸倒引当金	△1,962	△1,692
投資その他の資産合計	44,434	44,051
固定資産合計	125,814	124,596
資産合計	606,945	625,657
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	406,796	435,407
引当金	2,276	24
その他	55,139	46,799
流動負債合計	464,213	482,231
固定負債		
退職給付引当金	13,496	13,540
役員退職慰労引当金	349	327
その他	9,054	8,798
固定負債合計	22,900	22,665
負債合計	487,113	504,897

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	33,244	33,244
利益剰余金	73,989	75,035
自己株式	△2,549	△2,549
株主資本合計	115,314	116,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,371	3,257
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△18	△13
その他の包括利益累計額合計	3,354	3,245
少数株主持分	1,163	1,154
純資産合計	119,831	120,760
負債純資産合計	606,945	625,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	567,122	579,621
売上原価	527,185	540,217
売上総利益	39,937	39,403
販売費及び一般管理費	37,509	36,674
営業利益	2,428	2,728
営業外収益		
受取利息	31	39
受取配当金	361	301
不動産賃貸料	406	417
その他	308	275
営業外収益合計	1,106	1,033
営業外費用		
支払利息	35	36
不動産賃貸費用	349	346
その他	127	126
営業外費用合計	512	509
経常利益	3,022	3,253
特別利益		
投資有価証券売却益	—	391
固定資産売却益	106	73
その他	19	0
特別利益合計	126	465
特別損失		
投資有価証券売却損	—	25
減損損失	327	0
経営統合関連費用	449	—
投資有価証券評価損	182	—
その他	0	2
特別損失合計	959	28
税金等調整前四半期純利益	2,189	3,690
法人税、住民税及び事業税	127	185
法人税等調整額	788	1,198
法人税等合計	915	1,383
少数株主損益調整前四半期純利益	1,274	2,307
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△152	4
四半期純利益	1,426	2,303

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,274	2,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△108
繰延ヘッジ損益	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	4	5
その他の包括利益合計	3	△103
四半期包括利益	1,277	2,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,384	2,194
少数株主に係る四半期包括利益	△106	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	187,366	212,628	109,000	57,540	566,536	586	—	567,122
セグメント間の内部売上 高又は振替高	709	1,924	2,016	10	4,659	2,193	△6,853	—
計	188,075	214,552	111,017	57,550	571,195	2,780	△6,853	567,122
セグメント利益又は損失 (△)	971	1,973	△482	△254	2,208	323	△103	2,428

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	2,208
「その他」の区分の利益	323
のれんの償却額	△111
全社費用	8
四半期連結損益計算書の営業利益	2,428

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 （注）	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	191,673	218,506	108,075	60,880	579,136	485	—	579,621
セグメント間の内部売上 高又は振替高	666	1,884	2,430	8	4,990	2,612	△7,603	—
計	192,340	220,391	110,505	60,889	584,126	3,098	△7,603	579,621
セグメント利益又は損失 （△）	794	2,091	△164	△310	2,410	281	36	2,728

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額
報告セグメント計	2,410
「その他」の区分の利益	281
のれんの償却額	△80
全社費用	117
四半期連結損益計算書の営業利益	2,728

4. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

(単位：百万円)

品種	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
缶詰・調味料類	66,193	11.7	67,269	11.6	273,509	11.8
麺・乾物類	36,970	6.5	37,476	6.5	151,358	6.5
嗜好品・飲料類	64,980	11.5	65,975	11.4	258,930	11.2
菓子類	58,911	10.4	62,702	10.8	247,180	10.7
冷凍食品類	91,433	16.1	98,130	16.9	383,414	16.5
チルド食品類	110,856	19.5	110,886	19.1	448,312	19.3
ビール類	61,732	10.9	60,771	10.5	242,742	10.5
その他酒類	48,666	8.6	48,487	8.4	197,402	8.5
その他	27,377	4.8	27,921	4.8	116,021	5.0
合計	567,122	100.0	579,621	100.0	2,318,873	100.0

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間より、品種別の売上高構成比を勘案し、重要性が高い品種に見直し表示しております。なお、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度についても、同様に組替えて表示しております。

2. P3 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（4）追加情報（表示方法の変更）に伴い、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度を組替えて表示しております。

(2) 業態別売上高明細表

(単位：百万円)

業態	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
卸売	57,013	10.1	53,928	9.3	221,398	9.6
GMS	41,571	7.3	45,239	7.8	174,797	7.5
SM	218,399	38.5	220,639	38.1	891,038	38.4
CVS	163,298	28.8	172,746	29.8	685,318	29.6
ドラッグストア	18,827	3.3	22,037	3.8	78,154	3.4
ユーザー	15,911	2.8	13,812	2.4	60,820	2.6
その他直販	43,794	7.7	43,208	7.4	174,234	7.5
(直販計)	501,803	88.4	517,684	89.3	2,064,364	89.0
メーカー・他	8,305	1.5	8,008	1.4	33,109	1.4
合計	567,122	100.0	579,621	100.0	2,318,873	100.0

(注) 1. GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアの略で、総合スーパーであります。

2. SMはスーパーマーケットであります。

3. CVSはコンビニエンスストアであります。

4. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。